



2021 年 1 月 15 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」IoT/エッジ AI コンピューティングのラトナ株式会社への投資実行

— 独自開発した AI/IoT プラットフォーム「AION」をベースとしたサービスを展開 —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、ラトナ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大田和響子。以下、ラトナ社と表記）への投資を実行しましたので、お知らせします。ラトナ社は今回の調達資金を活用し、特許技術であるエッジにおけるコンテナオーケストレーション技術を活かし、主に製造業向け IoT/エッジコンピューティング分野での事業拡大・技術開発を強化し、旅館・ホテルなどのサービス業向けおもてなしアプリケーション「OMOTE-Bako（おもてばこ）」の販売促進・マーケティング強化を行なう計画です

■ 投資先企業の概要

ラトナ社は 2018 年 4 月設立された、AI および IoT を包括的に開発・実行・運用・管理するためのプラットフォーム「AION」の開発および運営、その応用サービスを展開するアーリーベンチャー企業です。

「AION」は、フルオープンソースのプラットフォームで、特許登録されたエッジ側でマイクロサービスを柔軟に稼働させたり、データトラフィックをロードバランシングさせる技術を有し、低コスト・高パフォーマンス・汎用性・拡張性を持ち、特に製造業の生産現場のペインを解決し得るソリューションとして、大手製造業社において PoC や本採用実績が積み上がりつつあり、今後さらなる成長を企図しております。

■ 「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半年には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 12 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、885 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室

TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101

pr_media@sparxgroup.com